

令和7年度 第1回 甲斐市水道審議会 会議録

1 開会日時 令和7年7月14日（月）午後3時

2 開催場所 甲斐市役所新館2階 防災対策室

3 出席者 （委員）10人

・清水正二	・高橋博次	・末木 修	・中村富男
・高橋 均	・齋藤一三	・桂嶋恵美	・中込清美
・花形保彦	・阿部智子		

（株式会社建設技術研究所）3人

4 事務局

・保坂 武 市長	
・保坂 義実 公営企業部長	
・芳賀 康貴 上下水道業務課長	・中島 茂樹 上下水道工務課長
・藤井 亮一 上下水道総務係長	・池田 靖 上水道施設係長
・安井萌々花 上下水道総務係主事	

5 会議次第

- 1 開会
- 2 委嘱状の交付
- 3 市長あいさつ
- 4 正副会長の選任
- 5 諮問
- 6 職員紹介
- 7 案件
 - (1) 甲斐市水道事業等の概要について
 - (2) 甲斐市第2次水道ビジョンについて
 - (3) 甲斐市第3次水道ビジョンの策定について
- 8 その他
- 9 閉会

6 発言要旨

【第 1 回甲斐市水道審議会】

(司会：上下水道業務課長)

—午後 3 時 開会—

1 開会

【司会】 皆様こんにちは。本日はご案内のとおり、令和 7 年度の第 1 回甲斐市水道審議会ということで皆様にお集まり頂きました。お忙しい中、ご出席を賜り、誠にありがとうございます。令和 7 年度となり、新たに委員に就任された方もいらっしゃいますので、事務局から本日出席されている委員の皆様の紹介をさせていただきます。次第をめぐっていただき、1 ページをお願いいたします。こちらの委員名簿の順にお名前をお呼びいたしますので、その場にてご起立、ご着席をお願い致します。

(司会による委員紹介)

2 委嘱状の交付

3 市長あいさつ

【司会】 市長からあいさつをいただきます。

【市長】 皆様、こんにちは。本日はお忙しいところご出席いただき、誠にありがとうございます。さて、本審議会は本市の水道事業及び簡易水道事業の適正な運営を図るため、設置されているものであり、市の水道事業等について、市長の諮問に対し、必要な事項を審議していただく諮問機関となっております。現在、本市の水道事業につきましては、甲斐市第 2 次水道ビジョンにおいて目標として掲げる「安全な水道」、「安定性の高い水道」「持続可能な健全経営」に向け、日々取り組んでいるところでありますが、老朽化に伴う施設の更新や地震対策など、計画的に取り組むべき多くの課題を抱えております。

本日の審議会では、皆様に最終年度となる第 2 次水道ビジョンの検証及び、第 3 次水道ビジョンの策定に伴う「今後の水道事業の方向性」について諮問させていただきます。将来にわたる「安全な水の安定した供給」のため、皆様には、これまで積み重ねてこられた知識・経験を活かし、ご審議を賜りますようお願い申し上げます、挨拶いたします。

ありがとうございました。

4 正副会長の選任

【司会】 審議会の正副会長を選任したいと思います。選任の方法につきましては、事務局一任とのご意見がございましたので、事務局より提案させていただきます。会長には、甲斐市商工会会長の清水正二様、副会長には、自治会連合会竜王支部長の高橋博次様をご

推薦したいと思いますが、いかがでしょうか。

異議なしの声を頂きましたので、改めまして会長には清水様、副会長には高橋様で決定させていただきます。ここで清水会長より、就任のごあいさつをいただきたいと存じます。清水会長、よろしくお願いいたします。

【会長】 改めまして、ただいま皆様方に選任いただいて審議会の会長という形で紹介いただきました清水です。商工会の会長ということで、審議会のメンバーとして出席させていただいておりますけども、先ほど市長が申しましたように、水道というのは生活の中でも非常に重要な位置を占めております。将来の課題に向けて色々と皆様方の貴重なご意見をいただいて、審議会として市長の諮問に応えるような形で、委員の皆様のご協力を得まして微力ではございますが、尽くしたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

5 諮問

【司会】 続きまして諮問になります。

【市長】 本市の水道事業は甲斐市総合計画の基本理念である「緑と活力あふれる生活快適都市」を達成するために、平成 28 年 3 月に策定した甲斐市第 2 次水道ビジョンにおいて、「安全な水道」・「安定性の高い水道」・「持続可能な健全経営」を目標に掲げ、中長期的な経営の基本理念に基づき、事業を推進しているところであります。

今後においても、本市の水道事業を取り巻く環境の変化に対応し、将来にわたって安全な水道水を安定して供給するため、水道事業運営の指針となる第 3 次水道ビジョンを策定するにあたり、甲斐市水道審議会条例第 2 条の規定により、本審議会に対し「今後の水道事業の方向性」について諮問いたします。

【司会】 ありがとうございます。ただいま保坂市長より諮問書が渡されました。今後はこれに基づき、ご審議をお願いすることとなりますのでよろしくお願い致します。

6 案件

【司会】 それでは、ここから次第 6 の案件に移ります。それでは清水会長、会議の進行をお願いいたします。

【会長】 ただいま、事務局から説明があったように議題は私が進めて参りますので、皆さんよろしくお願いいたします。では本日の案件について、事務局から説明をお願いします。

(事務局により審議会資料に沿って、案件 (1) を説明)

【会長】 説明が終わりました。質問のある方は名前を言ってから発言してください。

【委員】 1 点お聞きしたいのが、7 ページからになりますが、給水人口の減少に伴って収入も減っていくという説明だったと思います。竜王地区及び双葉地区の住宅や人口等は

増えつつあると思いますが、そのようなことを考えれば、かえって収入は増えると思われる。この原因はミネラルウォーター等の水道に頼らない人が増えているということなのでしょうか。この原因について、分かる範囲で教えていただきたいです。

【事務局】 人口の方は、今は微増という状況となっていますが、将来的には減少していくということを想定しています。また、ミネラルウォーター等、水を買う時代になっているほか、節水意識もありますので節水機器を使って水を使う量を減らしているということもあります。そういうことも関係してきているのではないかと考えております。

【会長】 よろしいでしょうか。他にご意見がないようですので、次の案件に移らせていただきます。

(事務局により審議会資料に沿って、案件(2)を説明)

【会長】 この説明について、ご質問、ご意見等ありましたら、お聞きしたいと思います。発言の場合は、お名前をお願いいたします。いかがでしょうか。

【委員】 昨今、各地で災害があります。インフラはじめ水道が止まった場合、甲斐市はどのような考えでいるのか、睦沢・清川地区、吉沢地区はどのように対応していただけるのか、お聞きしたいです。

【事務局】 睦沢・清川地区、吉沢地区の簡易水道の地域について、実際に水道が止まった場合には給水車等により、給水対応をしていきたいと考えております。また、施設自体に何か起こる場合も考えられますので、計画をもって老朽化しているものは順次更新していくことを考えております。

【委員】 昨年の夏に災害がありまして、直接は関わってないですが簡易水道に近い道路が被害にあっており、工事の申請を出しているのですが、なかなか復旧が進んでいない状況です。今年も夏場、特にゲリラ豪雨等があった場合に、今以上に被害が進んでしまったら完全に水道が止まってしまうと思うのですが、そのあたりはどのような進捗状況なのでしょうか。

【事務局】 昨年の8月の雨の影響で道路が崩れた箇所というのは防災危機管理課の方で把握しているほか、各部署にその情報も来ておりますので、そこは順次対応しております。実際、水道に被害が出た場合には、水道を止めておくというわけにはいきません。そこはすぐに対応していきたいと考えております。

【委員】 23ページになりますが、G2に「隣接都市との相互連絡体制の強化」とございます。かなり前だったと思いますが、県の方で指針を出したということで検討を進めていると思うのですが、この協定というのは進んでいるのでしょうか。

県の水道広域化というのは、どういう部分を広域化するのでしょうか。例えば、給水車を出すとか、他の自治体から借りるということも含まれるのでしょうか。あとは、料金関係とか、管路の接続とかあると思うのですが、もし具体的なものが今後検討されるのであれば内容を教えていただきたいと思います。

【事務局】 一部の地域では、隣町と水道を繋ぐといった、防災面で連携をしているところもあります。連携中枢都市との関係で、10の市がありますので、そこと連携を考えていきたいと思っておりますが、当然ハード面の連携と料金関係等のシステムの連携もありますので、検討を進めていきたいと考えております。

【委員】 なかなか進まないとは思っておりますが、努力していただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

【会長】 他にご意見いかがでしょうか。第2次水道ビジョンについての結果によって、第3次水道ビジョンに結び付く形になりますので、ぜひ皆様からの貴重なご意見を賜りたいと思います。

【委員】 今の広域化に関してですが、広域化についてメリット、デメリットがあるのでしょうか。必ずしも広域化しなければならないのでしょうか。

【委員】 今の段階では、それも含めてどのような方向性で取り組むかを決める前の段階であります。いずれデメリット、メリットが両方出てくると思うので、考えながら検討していきたいと思っております。

【会長】 検討した段階で報告をお願いいたします。

【委員】 初めて会議に参加しましたが、水道の料金が上がったことや、災害が多くてあちこち水道が吹き上げているといったイメージしかないです。水道料金25%が上がったことも、広報を見て知ったため、その経緯等が全然分かっていない状況です。

【会長】 新しい委員もおられますので、水道料金の改定等の経緯も事務局の方から説明していただければと思います。

【事務局】 料金改定の方は、前回までの審議会の中で検討させていただいて、決めていただきました。今後施設の老朽化や管路の更新等色々なお金がかかってくることが目に見えており、なんとか継続できるようにしていかなければならないとなると、やはり水道料金を値上げした上で、そのお金を使って更新していくことしかできないため、丁寧に説明をしていきながら、更新、老朽化のためのお金をいただいて事業をしていきたいと考えておりますので、そこはご協力をなんとかいただきたいと思っております。

【会長】 水道は公営企業と言って、収支は独立した形で収支をとるようなものとなっています。そういった形の中で審議を進めてまいりますので、ぜひそこら辺のご理解をお願いしたいと思います。

【委員】 水道料金を改定しているけれども、管路の老朽化は進んでいく、それから技術職員は2名減少となっている、そうすると水道料金を上げても追いついていかないというのがあります。技術職員が足りないというのは分かるのですが、人材の育成等も考えながら色々なことに対応していかないと、地震も災害もありますのでそれに対応していく人材もお金もないと先行きは不安が残ります。これからはどのようにしていくか考えていただいて、資金がないと何もできませんので、水道料金は使用者側としてしょうがないと考えていますが、職員の育成とか、管路も古くなっていく所があると思いますが、そこをどの

ように先を見て入れ替えをしていかなければいけないか、色々な災害があったときに水道管が破裂してしまうといったことも起きてしまいますので、そういった色んなことを考えながらこの事業は進めていただきたいなと思います。

【会長】 第3次水道ビジョンにも今のようなご意見が反映されると思いますが、事務局の方から何かございますか。

【事務局】 維持は更新を含めて必要になってきます。全部を更新するとなると、お金が足りなくなると思っておりますので、水道管を一部修繕しながら壊れないように使い、なるべく更新費用を抑えながら進めていきたいと思っております。

技術職員数については、市の人事課が担当となりますが、技術職員が民間の方に流れてしまうという実情もありますので、甲斐市の魅力について発信をし、人材確保をしてほしいと考えておりますので、そこは人事課と話をしながら進めていきます。

【委員】 商工会の理事の齋藤です。料金回収率というものがよく理解できないので、説明していただけますでしょうか。例えば、料金回収率が悪いというのは、水道料金がこれだけ請求したらこれだけしか入ってこないという話ではないですね。

【事務局】 こちらは「給水の原価に対する供給単価の割合」となっております。仮の話でいきますと、給水原価として水を1リットルつくるのに100円かかるとします。販売する供給の単価を110円とすれば、100円で作って110円で売るので、110%、つまり10円の利益が出るという話です。100%以上になっていることが望ましいというのは、利益が出ているということです。

一方、簡易水道の料金回収率は20%程度となっております。独立採算制ではありますが、一般会計からの繰入で赤字部分を補填し、その中で運営をしているというのが実情です。

【委員】 そうすると、令和5年が128.0%で、令和6年が115.3%というように下がっていますよね。これは、やはり水を使う量が減ってきたり、施設の更新にお金がかかったりしてこのような値となっていて、今後もこういう傾向が続く可能性があるということでしょうか。

【司会】 将来的なことは不明点が多く言及しかねますが、傾向としては水を作るためには色々なお金がかかりまして、電気料金や薬品費など物価が全体的に上がっていることで、水を作るための費用も上がるといったことは考えられます。

【委員】 施策の取り組み状況というところで、評価がBになっているところを見ていたのですが、21ページの安全な水道というところで、計画更新率2.7%に対して実績が1.5%、更新延長9.7kmに対し5.6kmしかできていないという評価になっているのですが、この原因と老朽管に関して何十年と経っている水道管に対して、新しい技術や管路の材質面等について検討されているかお伺いしたいと思います。

【事務局】 主要管路の更新について、実績が伴っていないということですが、水道管の耐用年数というのは40年であり、ビニル製の塩ビ管と呼ばれている管路については、人

口が増えてきた頃に一番多く入れてきました。40年の耐用年数を経過しており、その部分を更新という形で入れ替えていかなければならないのですが、この辺りの工事实績が追いついていないということです。

また、更新については管路だけでなく、施設等も含みます。すべての40年経過した管路を一気に替えるということではなく、災害が起きた際に避難所に近い管路を優先的に耐震化していくといった更新の計画を立てております。材質であれば、塩ビ管だと耐震性がないため、融着継手のポリエチレン管にし、今後は100年近く持つような管路に替えていく準備をさせていただいています。そういった管路につきましては、やはり金額的にもかなり高額にはなっていくので、更新はしていきますが実績として目標値に達していない現状であります。優先順位をつける中で、災害に強い水道管を作っていくという意味で、計画を立てながら更新をしている段階でありますので、ご理解いただければと思います。

【会長】 先ほど水道管について説明がありましたが、今はほとんどの管路がビニル管になっていますが、更新の時にはポリ管といって柔らかい材質で振動があっても対応しうる管で対応していくので、事務局が言ったように、更新時に材料費が高くなる形になります。

初めてなので、水道事業というものをある程度皆さんに知識を持っていただいて、意見を出していただくと審議会が活発化すると思いますので、発言された以外の方にご意見を伺いました。ぜひそういった形でご協力願いたいと思います。

【委員】 先日、埼玉県で起きたような、小さな陥没から始まって最終的には大規模な崩落となりトラックの運転手が亡くなったことがありましたが、こういった事故が甲斐市としてはあり得るのでしょうか。

【会長】 あれは、下水道の話ですね。水道としては、どこかでそういったことは考えられるのでしょうか。

【事務局】 水道自体は大きい管はなく、埼玉県での事故は2mくらいの大きな管だったため大きな事故になってしまうのですが、甲斐市の場合の大きくても200mm程度の管路を使っており、漏水した場合は上に出てくるので、場所が分かるのですぐに対応してやりますので、大きな事故になることは考えにくいです。

【会長】 甲斐市の水道管の深さは大体どれくらいなのでしょう。

【事務局】 0.9m～1.2mくらいの深さで収まっています。

【会長】 そうしたら、埼玉県の事例のようなトラックがそのまま落下することはあり得ないということですね。

【事務局】 それだけ太い管は下水道でもありませんので、考えられにくいと思われます。

【会長】 他にご意見等ありますでしょうか。なければ「第2次水道ビジョン」について、を終わりたいと思います。

次に、案件（3）の「第3次水道ビジョンの策定」について、事務局から説明をお願い

いたします。

(事務局により審議会資料に沿って、案件(3)を説明)

【会長】 甲斐市第3次水道ビジョンの策定について事務局から説明がありました。皆様の方からご質問、ご意見等ありましたら、お聞きしたいと思います。先程の第2次を踏まえて第3次に入りますので。

【委員】 更新されているのかわかりませんが、こちらの水の龍王源水という名前は甲斐市になってからもずっと続いているかと思います。こちらをリニューアルする等の考えはあるのでしょうか。

【事務局】 龍王源水は長く皆様に使っていただいていますけれども、昨年、市制施行20周年記念の際にラベルを変えさせていただきました。市制施行20周年記念ラベルの龍王源水は事務所の前の自動販売機で購入することができますので、ぜひ購入いただければと思っております。「龍王源水」という商品名は、今年から10年間の商標登録を頂いておりますので、この先10年間は使用することが出来ます。またラベルのデザインは逐次検討させていただきます。

【会長】 災害時には災害地に送られているのですよね。実績がありましたら教えてください。

【事務局】 龍王源水は5年もちますので、静岡の災害協定を結んでいる御前崎市、牧之原市の両市に購入していただいている状況です。また、緊急時に皆様にお渡し出来るように、防災危機管理課で市の水道事務所から2年に1回大量に買っていており、災害用倉庫等に保管しております。また自治会にも買っていております。

【会長】 他はよろしいでしょうか。ご意見等がなければこれで議事を終了したいと思います。無事に議事が進行いたしまして、皆様のご協力に感謝いたします。どうもありがとうございました。

8 その他

9 閉会

【事務局】 清水会長、ありがとうございました。

その他、委員の皆様から何かございますか。無いようですので、よろしければ本日はこれにて終了とさせていただきます。お疲れ様でございました。ありがとうございました。